

厚木市環境センターからのお知らせ

火災の原因となるごみの「分別徹底」にご協力をお願いします。

火災の原因となるごみをもえるごみの日などに出すと、火災事故の原因となります。発火を防ぐため、必ず「もえないごみの日」に出してください。

充電式電池（リチウムイオン、ニカド、ニッケル、水素）、充電式電池を使用した製品、カセットボンベ、スプレー缶、ライターなどが、もえるごみに混入され、処理施設や収集車での圧縮処理による火災事故が全国的に発生しています。正しく分別することで、火災事故を防ぐことができます。



《出典元》
(公財) 日本容器包装リサイクル協会

【リチウムイオン電池の圧縮によるハンディファン発火再現例】



《出典元》製品評価技術基盤機構 (NITE) 等

【正しい分別方法】

充電式電池、カセットボンベ、スプレー缶、ライターなど火災の原因となるごみは、「もえないごみの日」に種類ごとに分けて透明または半透明の袋に入れて出してください。

回覧

市民と厚木市資源再生センターを結ぶ情報誌

リサイクルハート

第92号

発行日 令和8年2月1日
発行 協同組合
厚木市資源再生センター
所在地 厚木市飯山南5-18-30
電話 046-242-4601
FAX 046-242-4610
URL http://www.atsugishigen.com
編集 広報・イベント委員会

誰でもできる! 今日からはじめる 「SDGs (エス・ディー・ジーズ)」



皆さんは「SDGs」をご存知でしょうか。「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2030年までに世界が達成すべき17の目標を掲げています。「よりよい暮らし」、「誰もが幸せに生きられる社会」を目指すもので、身近なテーマがたくさんあります。「国や自治体、企業がやること」、「自分には関係ない」と思っている方もいるかもしれませんが、実は誰でもできることが多くあり、小さな行動で世界を変える力になれることがSDGsの良いところです。堅苦しいものではなく「私もやってみようかな」という思いが1つずつ増えていくことこそが、SDGsの第一歩となるのではないのでしょうか。

当組合は、目標の12「つくる責任つかう責任」に関わりの深い、リサイクルのための資源物の収集・運搬業務を担っています。世の中の課題や環境問題に常に目を向けて住みやすいまちづくりを目指している厚木市の資源循環型社会構築に寄与するため、引き続き私たちは努力してまいります。

そして、私たちの業務は市民の皆さんの協力なくして成り立ちません。ぜひ一緒に「これからも住みやすいまち厚木」を目指しましょう。

moichido-paper

もいちどペーパー

「もいちどペーパー」
は紙資源から作られた古紙100%のトイレットペーパーです。
パルプ100%の品質に近いものを製紙工場で作っています。
資源回収した紙を「もう一度」という意味が込められています。

お問い合わせ

協同組合 厚木市資源再生センター
TEL : 046-242-4601
FAX : 046-242-4610
E-mail : jim@atsugishigen.com

シングル (芯あり)
107mm(幅)×65m(長さ)

1箱(100ロール入り)
¥3,410 (税込)
(税抜 ¥3,100)
1ロールあたり約¥34
4箱以上ご注文時は
¥3,300 (税込)
(税抜 ¥3,000)
1ロールあたり約¥33

※ひとつひとつ包装してあるので外での保管/使用にも便利で、衛生的です。

紙ひも

新聞、雑誌、段ボールを束ねるのに便利です。併せてご購入下さい。もちろん!! 紙ひもだけでも販売いたします。

1巻 (100m)
¥170 (税込)
(税抜 ¥155)

※紙ひも自体が紙資源のため、環境にやさしい商品です。



分別排出のお願いです

市民の皆さんが集積所に出された紙資源は、当組合が収集し古紙問屋に搬入していますが、その問屋より搬入されると困る物があるとの話がありましたのでここで紹介します。

ティッシュペーパー、キッチンペーパー、油で汚れたダンボールなどの「紙ごみ」や、紙オムツ、ペットシート、野菜屑などの混入が多くあるとのことで、これらは禁忌品となり、混入されることで本来資源となるはずの物も、汚れやにおいが付着しているためすべて可燃ごみとして処理をしなければなりません。



また、次の物も多く混入されていますが、すべて可燃ごみとなりますので紙資源として出さないようお願いします。

防水加工された紙

ヨーグルトやカップ麺の容器
紙コップや紙皿等



アルミコーティングされた紙

カップ麺のふた
お酒やジュース等の中が銀色のパック紙

そして、雑誌やダンボールを束ねる時のごみです。布やストッキングで縛っているケースが散見されますが、それを切る作業に手間がかかり処理効率が下がってしまいます。なるべく紙紐かビニール紐でお願いします。



また、ビニールのフィルムの付いた封筒等は、ビニール部分を外していただけるととてもありがたいとのことです。

当組合では収集時に禁忌品だと気が付いた場合は収集できない旨のシールを貼り置いておくことにしていますが、道路上で長時間トラックを停めての作業は迷惑がかかるためスピーディに作業を行う必要があります。その場で袋の中の物を全て確認することは困難であり、気が付かずに禁忌品も収集してしまうことがあります。

ぜひ上記のことをご理解いただき、分別排出にご協力をお願いします。

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



組合活動紹介

地域清掃ボランティアに参加

昨年7月に平塚市で開催された「湘南ひらつか七夕まつり」当日、また、8月に厚木市で開催された「あつぎ鮎まつり花火大会」の翌日、会場の清掃ボランティアに参加しました。

両方とも有名な祭りのため大勢の方が集まり、ペットボトルや缶、プラスチック製のコップや容器などが多く路上に落ちていました。清掃のしがいを感じる2日間でした。

あつぎ鮎まつり会場の清掃では中央公園や駅周辺の路上のごみを拾い、私たちが住むこの厚木市の街中を綺麗にすることに協力が出来ました。

私たちを含め多くのボランティアが参加し、朝6時の厚木の街中は片手にビニール袋、片手にトングを持つ清掃ボランティアの姿が目立ちました。

路上の多くのごみを見ると悲しくなる一方で「こんなにも多くの方がすすんで清掃に参加しているのか」と心強く嬉しい気持ちになりました。

どことなく心が豊かになるこのような活動をこれからも継続していきたいと思えます。



あつぎ鮎まつり会場での様子

湘南ひらつか七夕まつり会場での様子

施設見学 (株鈴木油脂)

当組合では、市民の皆さんがご家庭で使用した食用油を資源物として収集し、資源化センターで一時保管しています。その後、中間処理を行うため鈴木油脂に搬入するのですが、過日、その油がどのようにリサイクルされているのかを学ぶため、同社工場へ施設見学に行きました。

工場内で機械の説明を受けながら使用済みの油が「洗浄」される工程を見学し、リサイクル製品について教えていただきました。きれいになった目の前の食用油が、鶏の飼料、飛行機や車の燃料、ペンのインク、石鹸、等々実に様々な物にリサイクルされていることを知ることができました。

今まで収集しているだけでは感じる事ができなかった食用油のリサイクルについて、自分の目で見て感じて学ぶことができました。布や紙に油を染み込ませて可燃ごみとして出すのは確かにもったいない、と実感する充実した施設見学となりました。

是非、使用後の食用油はペットボトルに入れ蓋をしっかりと閉めたうえで収集日に集積所に出していただき、これからも資源としての収集にご協力をお願いします。

